

おおむた 市議会だより

第180号

平成23年度 第6回定例会

平成24年(2012年)5月1日発行

インターネット議会中継配信中

大牟田市議会

<http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>



ゴールデンウィークは動物園へレッツゴー!!

5月5日は中学生まで無料
オヤツあげ体験やふれあい体験など
イベント盛りだくさん



【主な記事】

- 議会改革の精神で積極的な要望を行う/ ぎかいのわだい(2ページ)
- 決議案2件を全会一致で可決/ 本会議運営のあらまし(6ページ)
- 議会を傍聴してみませんか/ トピックス(12ページ)

も
く
じ

| | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ■ ぎかいのわだい…………… 2 | ■ 本会議運営のあらまし、議案等の審議結果… 6 |
| 議会改革の精神で積極的な要望を行う | 本会議運営のあらまし、議案等の審議結果、発言者通告一覧 |
| 【連載】議員のよこ顔 | |
| ■ 委員会レポートほか…………… 4 | ■ 代表質問…………… 8 |
| 総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会、 | 代表質問(4人) |
| 議会改革特別委員会、予算特別委員会、委員会構成の | ■ 一般質問…………… 10 |
| 変更、議会日誌、3月19日の本会議で可決した決議 | 一般質問(8人) |
| | ■ トピックス…………… 12 |
| | 議会を傍聴してみませんか～議会を監視するのは |
| | あなたです～、インフォメーション、編集後記 |



議会報告会の声を 予算特別委員会へ

議会改革の精神で

■議会基本条例に定める「市民意見の聴取」

議会報告会で寄せられた意見・要望等を活かし、各議員が積極的に予算特別委員会の場で取り上げ、行政に対応や検討を求めました。議会報告会における皆さんの貴重なご意見を、どのように行政へ届けたのかについてご紹介します。行政は、要望に対する取り組みや検討の内容を書面で回答することになっています。

■議会報告会の意見と予算特別委員会での要望

9件をご紹介します。見方は次のとおりです。

○議会報告会で寄せられた意見・要望等（要約したもの）

●予算特別委員会で議員が発言した意見・要望

①**中心市街地の活性化**に向けて頑張ってもらいたい。商店街の活性化計画または構想との整合性はどうか。

①**中心市街地活性化**については、常に全体のエリアを念頭に置いて検討・推進を図られたい。

②**県境など中心市街地以外の地区**の整備についても、等しく税金を投入すべきである。

②**県境地区の商店街の活性化**

については、買い物に困っている高齢者がふえていることに**かんがみ**、早急に何らかの対策を講じられたい。



活性化策が期待される
県境(三里)地区

③**世界遺産登録**を推進するのならば、周辺の環境整備も必要。また、リピーター確保の工夫についても検討してもらいたい。多額の費用の発生が心配だ。宮原坑が世界遺産とイメージできない。

③**世界遺産登録推進**については、所管が複数の部局にわたっているが、世界遺産登録推進室が統括する役割をしっかりと果たし、十分な情報の集約と適切な市民対応に努められたい。また、市民からの正しい理解が得られるよう、さらなる広報啓発に努められたい。



宮原坑

④**手鎌地区公民館のパソコン**は老朽化している。多くの市民の利用があるので、こうしたものにはお金をかけてほしい。

④**地区公民館へのパソコン配置**については、市民ニーズが高いこともあり、2地区公民館への配置にとどまらず、全地区公民館への配置を目指されたい。



⑤**地域には、同じような内容の依頼**が別々の課から来ることがある。一本化できないか努力してほしい。

⑤**地域と行政との連携**については、市民協働推進室が行政側の取りまとめの窓口としての役割を果たし、スムーズな連絡調整に努められたい。

⑥**市営住宅に住む方**には、行政から、**一層のコミュニティへの協力**を呼び掛けてほしい。

⑥**市営住宅等におけるコミュニティの推進**については、地域のつながりが薄いという声も聞かれるため、都市整備部と連携し、コミュニティ形成を積極的に働きかけられたい。市営住宅コミュニティ活性化モデル事業については、住民自治が十分に機能するよう、行政側からの仕

議員のよこ顔(最終回)



光田 茂
議 員

①62歳 ②諏訪町 ③中学校からバレーボールをやっていますがスポーツ全般が好きです いまも競技の指導を通じて子供たちと触れあうことができ楽しい ④成せば成る ⑤気候が温暖で自然災害が少ないところ ⑥情熱的で何事も一生懸命なのが長所であり短所でもあります



三宅智加子
議 員

①53歳 ②平原町 ③観劇、スポーツ観戦、人形劇（大学時代はボランティアで公演活動をしました） ④心こそ大切なれ（素直な心、負けない心） ⑤人情味溢れる人柄、家路につく折遙か向こうに横たわる三池山、青空や夕空に映えるメタセコイアの樹形 ⑥楽観的、意外と頑固



積極的な要望を行う

生活基盤から市民協働まで
広範囲にわたる意見・要望

掛けや働きかけを行われたい。

⑦市として**防災センター**を設置してほしい。また、今の避難場所が最適かといった検証や災害時の対応についても改めて論議してほしい。

⑧**防災対策の推進**については、災害弱者を守る観点から、福祉避難所の協定とともに、通所時間帯に災害が発生した場合の協定なども検討・協議されたい。



⑨**新大牟田駅の駐車場**の利用料金が低い。無料にしてほしい。また、**空港バスの乗り入れ**を検討してはどうか。

⑩**新大牟田駅の駐車場料金**については、まだ高いという声もあることから、できるだけ無料に近い方向で検討されたい。新大牟田駅への**西鉄空港バスの乗り入れ**については、市民からの要望もあることから、実現に向けて働きかけられたい。



新大牟田駅の市営駐車場

⑪**県道手鎌南関線**の岩本・南関インターチェンジ間の4車線化について、早急に事業に移れるよう県に働きかけてほしい。

⑫**県道南関大牟田北線**の4車線化については、市長のトップセールスを通じて、県などに必要性を強く訴えられたい。新大牟田駅周辺を初めとする幹線道路の整備については、本市活性化の前提となるものであり、積極的な推進を図られたい。




県道南関大牟田北線

最後に


市の予算と人員は限られているため、これらの意見・要望のすべてを行政側が満たすことをお約束するものではありませんが、検討を促すことで、何らかの形で前進することを期待するものです。

今後もニーズの把握に努め、要望した内容にも責任を持ち、議会基本条例に掲げる「市民福祉の向上」「豊かなまちづくり」の実現を目指して努力してまいります。


(番号の見方) ①年齢 ②住所 ③趣味・特技 ④座右の銘 ⑤大牟田のここが好き ⑥長所・短所など


森 電子
議 員


①41歳 ②大正町 ③歴史小説を読むことと書道 まだ始めて3年なので勉強中です ④「誠実」言ったことを成して実らせることというお話を聞いて大切にしています ⑤生まれ育ったまちなので大好きです ⑥曲がった事が嫌いなので、はっきり物を言い過ぎるところが短所です


山口 雅弘
議 員

①60歳 ②通町 ③学生の頃にはじめてスキューバダイビング(いまは忙しくて行けません)、家族とのドライブ ④一期一会を大切にしたいです ⑤農業・漁業から重化学工業まであり、またそこに住む人たちが好きです ⑥短所は言葉が足りないところと愛想がないと言われるところ


森田 義孝
議 員

①53歳 ②三池 ③軟式テニス、ゴルフ(下手の横好きです) ④温故知新、一期一会、人との出会いを大切にしています ⑤甘木山からの夜景と自然災害が少なく住みやすいところ また、B級グルメ(ラーメン、お好み焼きなど)が多く美味しいところ ⑥長所は温厚で真面目なところ 短所は不器用なところ


吉田 康孝
議 員

①60歳 ②今山 ③映画鑑賞、ショッピング、ホームセンターぶらぶら ④まず行動 今やる事 今こそやる事 ⑤三池山 三ツの池 人情 ⑥長所は誰とでも仲良くなれる、あまり人見知りしないところ 短所はおっちょこちょい、思い込み、近頃特に物忘れが多いところ

●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議事事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

厳しい国民健康保険財政と重い市民負担**総務委員会****国民健康保険事業財政安定化計画**

2月15日の委員会で、国民健康保険事業財政安定化計画について説明を受けました。本市の22年度の国保会計の単年度収支は約7億4千万円の赤字で、厳しい財政運営であることを踏まえ、医療費適正化と保健事業、健康づくりの取り組み（ジェネリック医薬品使用促進、特定健康診査、食育推進等）、及び財源確保（保険税率の段階的な引き上げ、一般会計からの繰り入れ増等）の

視点から、国保収支の安定化を図る計画が示されました。市議会としても、市民負担増への危惧と、国民皆保険



ジェネリック医薬品使用促進通知サービスに平成20年度から取り組んでいる広島県呉市を視察（2月1日）

制度の最後のとりでを堅持するという認識を持ち、「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書案」を全会一致で可決し、関係省庁に改善を求めました。

●所管：保健福祉部、教育委員会

読書の楽しさ つながる ひろがる**教育厚生委員会****図書館の相互利用開始について**

3月30日の委員会において、有明圏域定住自立圏共生ビジョンに関する図書館の相互利用開始について報告を受けました。圏域内図書館の図書資料を利用することができるよう読書環境の整備を行うことで、読書意欲の喚起、交流人口の促進、地域振興に役立てることを目的としています。平成24年4月1日から開始され、大牟田市、柳川市、みやま市に住所を有する人は、域内の公

立図書館の図書資料の貸し出しを含む図書サービスを受けられるようになりました。

インフルエンザの流行状況について

2月14日の委員会において、インフルエンザの流行状況についての説明を受けました。市内の学級閉鎖等の状況については、平成24年1月13日から2月7日までに、幼稚園4カ所、小学校21校、中学校4校、高等学校2校で、患者総数582人と報告がありました。

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

大牟田市産業振興ビジョンに関連して先進地を視察**都市環境経済委員会****環境・リサイクル産業、新エネルギー産業推進プロジェクト**

2月14日の委員会では、上記ビジョンの説明を受けました。この計画の中では、環境・リサイクル産業分野の研究開発等支援事業及びエネルギー関連産業支援事業の推進や事業用太陽光発電設備の設置促進支援措置の拡充を図る内容も盛り込んであり、従来からの事業に加え、新たなエネルギーの活用に向けた具体的な取り組みが必

要になってきます。そこで本委員会では、新エネルギー推進事業などについての先進事例を学ぶために、3月21日から3日間、神奈川県川崎市ほか2都市を訪問し、現地を視察するなどしました。



浮島太陽光発電所（神奈川県川崎市）

●所管：議会改革に関すること

平成23年度の活動**議会改革特別委員会****議会基本条例の推進**

23年2月に議会基本条例が施行され、同年5月の改選で新しい議会構成となって、本格的に基本条例の推進に取り組んでいます。

基本条例に掲げた項目で、特に力を注いできたのが、議会活動の報告と市民の皆さんからの意見聴取を目的とした議会報告会です。この報告会は議会としても初めての取り組みであったため、議会改革特別委員会において

協議、調整を行ってきました。そして、いただいた意見等を集約・分類するなどの作業を行い、その後の議会としての対処に結びつけました。

これからも基本条例に沿って、時代にあった議会改革に積極的に取り組むことで、議会の活性化に努めたいと思います。





新年度各会計予算を可決 予算特別委員会

■一般会計532億円など

議員全員で構成する予算特別委員会（境公司委員長、平山伸二副委員長）を設置し、平成24年度一般会計予算532億円を初めとする各会計予算及び条例等の25件を、3月8日から15日までの実質6日間で審査を行いました。（2、6ページに関連記事）

委員会構成の変更について

以下のとおり、委員会構成が変わりました。★印が変更点です。

（◎委員長、○副委員長、会派は6PIに掲載）

議会運営委員会 ◎光田茂（自）、○平山伸二（公）、森竜子（自）、今村智津子（公）、平山光子（護）、古庄和秀（護）、橋積和雄（共）

総務委員会 ◎入江裕二郎（自）、○古庄和秀（護）、田中正繁（自）、徳永春男（自）、今村智津子（公）、塩塚敏郎（公）、平嶋慶二（護）、橋積和雄（共）、猿渡軍紀（無★）

教育厚生委員会 ◎三宅智加子（公）、○境公司（自）、光田茂（自）、森竜子（自）、平山伸二（公）、松尾哲也（護）、北岡あや（共）、吉田康孝（無★）

都市環境経済委員会 ◎城後正徳（無）、○★高口講治（共）、塚本二作（自）、西山照清（自）、山口雅弘（自）、大野哲也（公）、平山光子（護）、森田義孝（護）

議会改革特別委員会 ◎大野哲也（公）、○徳永春男（自）、田中正繁（自）、塩塚敏郎（公）、平山光子（護）、森田義孝（護）、橋積和雄（共）、吉田康孝（無★）

議会日誌（1月～3月）

| 月 | 日 | 会 議 名 | |
|----|----|--|-----------------|
| 1 | 13 | 議会運営委員会 | |
| | 19 | 教育厚生委員会、議会報編集委員会 | |
| | 25 | 各派代表者会 | |
| | 26 | 議会改革特別委員会、都市環境経済委員会 | |
| | 2 | 各派代表者会、議会運営委員会 | |
| 2 | 13 | 議会改革特別委員会 | |
| | 14 | 都市環境経済委員会、教育厚生委員会 | |
| | 15 | 総務委員会 | |
| | 16 | 議会報編集委員会、第6回定例会本会議(開会) | |
| | 22 | 第6回定例会本会議(質疑質問) | |
| | 23 | 総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会 | |
| | 27 | 各派代表者会、議会運営委員会、第6回定例会本会議(補正関係議案採決、新年度関係議案上程) | |
| | 29 | 全員協議会 | |
| | 3 | 2 | 第6回定例会本会議(質疑質問) |
| | | 5 | 第6回定例会本会議(質疑質問) |
| 6 | | 第6回定例会本会議(質疑質問) | |
| 7 | | 第6回定例会本会議(質疑質問)、予算特別委員会 | |
| 8 | | 予算特別委員会、政策等調整委員会 | |
| 9 | | 予算特別委員会 | |
| 12 | | 予算特別委員会 | |
| 13 | | 予算特別委員会、政策等調整委員会 | |
| 14 | | 予算特別委員会、請願等調整委員会、政策等調整委員会 | |
| 15 | | 予算特別委員会 | |
| 16 | | 各派代表者会 | |
| 18 | | 各派代表者会 | |
| 19 | | 各派代表者会、議会運営委員会、請願等調整委員会、第6回定例会本会議(閉会)、議会報編集委員会 | |
| 22 | | 総務委員会 | |
| 30 | | 教育厚生委員会 | |

■3月19日の本会議で可決した決議

決議第2号

市民負担の軽減・対策を求める決議

大牟田市の財政は、昨年度決算において10年ぶりに黒字化した。市長は、今議会の提案理由において「市民福祉の向上と、これからの大牟田のまちづくりに向けた積極的な予算とすることができたのではないかと述べられた。

その一方で、特別会計である国民健康保険税、介護保険料の引き上げ改定が提案された。他都市に比べ、高齢者、低所得者の割合が相対的に高いという本市の特徴と、各種年金受給額が減額される中、市民負担があまりにも大きくなるとの危惧から、大牟田市議会として政策等調整委員会を開催し、3度にわたり協議を重ね、共通認識に立った。市長におかれては、市民への負担を軽減する最大限の努力を行うため、以下の事項について対応を図られるよう議会の総意をもって要望する。

1. 今回の国民健康保険税、介護保険料の改定については、両保険制度とも各保険者の裁量だけでは限界に来ており、政府において、早急かつ抜本的な対策が急務である。両保険者として、全国市長会、九州市長会など、さまざまな機会を通じ、両保険制度の抜本的改正について、政府に対し強く求められたい。特に、両保険制度の安定的かつ健全なる運営を図るため、国庫支出金の負担割合を従前の枠を超えて増額されるよう、政府に対し強く求められたい。
 2. 市民を挙げて、健康増進並びに介護予防に取り組むことにより、いつまでも健康で生き生きと暮らしていける健康のまちづくりが推進される。このことにより、市民一人ひとりの人生が広がるだけでなく、結果として保険税・料の低減につながる。新年度予算には、健康増進計画策定準備費も計上される中、健康増進並びに介護予防については、全市挙げて取り組むという強い決意を示す観点からも、推進担当組織体制の構築を含め、全庁の総力を挙げて取り組まれたい。また、健康づくりに対する意識の向上を図る一環として優良被保険者を表彰するなど、市民に対する周知啓発についても、これまでに以上に努められたい。
 3. 国民健康保険財政安定化計画、第5期介護保険事業計画に掲げる一人当たりの保険給付費の努力目標については、市長みずから関係諸機関に趣旨説明を行い、各計画に掲げる諸事業に全力で取り組まれたい。ただし、両保険制度の目的に照らし合わせ、安易な利用抑制により、健康悪化や要介護度の進行につながらないよう意を払われたい。
 4. 今回の両保険税・料の改定については、他都市に比べ、低所得者の割合が相対的に高いという本市の特徴に「がんがみ」、低所得者などに対する独自減免については、市民生活の崩壊を招かぬよう、特段の配慮をされたい。
- 以上、決議する。

決議第3号

東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議

昨年3月11日の東日本大震災の津波被害によって、岩手県・宮城県に発生した膨大な災害廃棄物の量は、岩手県が通常の11年分、宮城県が通常の19年分に達していると言われる。

環境省によると、沿岸37市町村で発生した災害廃棄物は推計2,252万8千トンで、両県が緊急的に仮設焼却炉をつくり、24時間連続運転を行っているものの、このうち処理が済んだのは、わずか6%にしかなかった状況である。本年3月11日、首相は官邸で記者会見を開き、災害廃棄物の広域処理について、法律に基づいて全国の都道府県に受け入れを要請する方針を示した。

大震災と同時に起こった福島第一原発の事故は、依然として厳しい状況が続いており、広範囲にわたって放射性物質が検出されるなど、国民の命と健康への影響が強く懸念されている。放射性物質に汚染された廃棄物については、福島第一原発の事故に起因したものであり、その処理責任は第一義的に東京電力と政府が負うべきであるが、放射能を帯びた廃棄物を最終的にどう処分・管理するのかについての見通しがなく、自治体や住民の不安を高めており、そうした声に政府が誠実にこたえる必要がある。

しかし、廃棄物の処理が被災地復興の大きなかぎであることは事実であり、通常の廃棄物については被災3県任せにせず、全国で協力して処理することが求められている。

本市においては、宮城県気仙沼市に工場を置く食品会社が被災し、これに伴い本市の同社九州工場に第二工場が増設された。あわせて気仙沼市居住の従業員が転入し地元での雇用が図られるなど、気仙沼市を初めとした被災地の復旧・復興に対して、大きな関心を寄せているところである。

よって、本市議会としては、被災地の一日も早い復旧を願い、本市に対し、国の責任による安全性の確保や情報公開、通常の廃棄物と判断されるものに限っての受け入れ、市民の合意形成を前提とするなど、災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を行うよう要請する。

以上、決議する。



本会議運営のあらまし

決議案2件を全会一致で可決

平成23年度第6回定例会は2月16日に招集され、3月19日までの33日間の会期で運営しました。

2月16日の開会日には、故田島哲也議員に対して出席者全員で黙祷し、吉田康孝議員が追悼演説を行うとともに、それに伴う議会構成の変更を行いました。

今議会で審議された議案等は、各会計の23年度補正予算や24年度当初予算を初め、条例の制定、条例の一部改正（副市長定数条例ほか）、財産の無償譲渡などの議案33件、報告3件、意見書案14件、条例制定の発議1件、決議案2件（市民負担の軽減・対策を求める決議案、東

日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議案（5ページに2件の決議文掲載）、人事議案7件の合計60件でした。

本会議では、平成24年度予算、国民健康保険事業、中心市街地活性化、介護保険事業計画等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む12名の議員が登壇し、市長を初め執行部に質問しました。

本会議最終日までに、報告3件、意見書案4件、条例制定の発議1件を除いた議案、意見書案、決議案及び諮問を原案どおり可決、同意または異議なき旨答申して、本定例会を閉会しました。

議案等の審議結果

可決

【全会一致】賛成＝出席議員全員

- 平成23年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
- 平成23年度大牟田市土地区画整理事業特別会計補正予算
- 平成23年度大牟田市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算
- 平成23年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
- 平成23年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成23年度大牟田市水道事業会計補正予算
- 平成23年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
- 大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 請負契約の締結について（大牟田市（仮称）新地町公営住宅（2期）増築工事）
- 財産の無償譲渡について（大学用地）
- 平成24年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
- 平成24年度大牟田市水道事業会計予算
- 平成24年度大牟田市公共下水道事業会計予算
- 大牟田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田文化会館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市危険物の規制等に関する手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例及び大牟田市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の制定について
- 字の区域及び名称の変更について
- こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書案
- 父子家庭支援策の拡充を求める意見書案
- スクールソーシャルワーカー配置の拡充を求める意見書案
- 国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書案
- 介護保険制度の長期的かつ安定的な運営のための抜本的改正を強く求める意見書案
- 市民負担の軽減・対策を求める決議案
- 東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、護憲、猿渡、城後、吉田

- 平成23年度大牟田市一般会計補正予算
- 平成24年度大牟田市一般会計予算

- 平成24年度大牟田市国民健康保険特別会計予算
- 平成24年度大牟田市土地区画整理事業特別会計予算
- 平成24年度大牟田市介護保険特別会計予算
- 平成24年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算
- 大牟田市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書案
- 若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書案
- 【賛成多数】賛成＝公明、護憲、共産、猿渡、城後、吉田
- 年金受給資格期間の短縮を求める意見書案
- 【賛成多数】賛成＝自民、公明、猿渡、城後、吉田
- 戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書案
- 年金制度抜本改革の全体像を早期に公表することを求める意見書案

否決

【賛成少数】賛成＝自民、猿渡、城後、吉田

- 公務員の人件費に関する意見書案
- 【賛成少数】賛成＝護憲、共産、猿渡、城後
- 障がい者制度改革推進本部の設置趣旨に基づく障がい者関連諸法律の制定を強く求める意見書案
- 【賛成少数】賛成＝護憲、共産
- 普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去を米政府と交渉するよう求める意見書案
- 【賛成少数】賛成＝自民
- 大牟田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について
- 【賛成少数】賛成＝共産
- 社会保障・税の一体改革の中止を求める意見書案

人事議案

- 大牟田市教育委員会委員の任命について
全員賛成で任命することに同意（大平修氏）
- 大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について
全員賛成で選任することに同意（吉永靖彦氏、北原朋喜氏、山田芳久氏）
- 人権擁護委員候補者の推薦について
全員賛成で異議なき旨答申（後藤和子氏）
- 大牟田市副市長の選任について
賛成多数で選任することに同意（中尾昌弘氏、脇山芳和氏）

報告を受けた

- 大牟田市土地開発公社の事業計画について
- 財団法人大牟田文化会館の事業計画について
- 財団法人大牟田市地域活性化センターの事業計画について

賛成会派について

賛否が分かれた場合、その議案等に賛成した会派を掲載します。会派の略称は次のとおりです。無所属は姓を表示。なお、議長は採決に加わることができません。 ■自民＝自由民主党議員団（光田茂、入江裕二郎、境公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清、森竜

子、山口雅弘） ■公明＝公明党議員団（大野哲也、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子） ■護憲＝社民・民主・護憲クラブ（古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝） ■共産＝日本共産党議員団（高口講治、北岡あや、橋積和雄） ■無所属＝猿渡軍紀、城後正徳、吉田康孝



市議会第6回定例会発言者通告一覧

(青い網掛けは一問一答制により質問、水色の網掛けは再質問からの一問一答制により質問、★は8ページ以降に主な内容を掲載)

(その1) 平成23年度の補正予算等の提案に対する質問 (1人)
(質問順は1番ですが、10ページに掲載しています)

①2月22日 山口雅弘議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)帝京大学新学科の開設関連議案に見る議会との関係 (2)★本市の置かれた現状における市民負担のあり方 (3)★東日本大震災を教訓とした本市の防災対策 (4)★産業振興ビジョン2012~2016 (案)における本市の成長戦略

(その2) 平成24年度の予算・条例等の提案に対する質問 (11人)

①3月2日 境 公司議員 代表質問 (自由民主党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)★24年度予算編成 (2)★特別職・一般職の給与削減、議員の報酬削減 (3)市長選挙・市議会議員選挙の同日実施 (4)二元代表制における市長 (行政当局) と議会 (議員) との関係 (5)★(仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業 (6)光ファイバー回線整備の進捗状況 (7)★有害鳥獣 (イノシシ) 対策 ■小規模特認校上内小学校について (1)学童保育所の必要性 (2)特色あるカリキュラムの内容

②3月2日 今村智津子議員 代表質問 (公明党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)★新年度予算編成 (2)★(仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業 ■国民健康保険事業について (1)★財源確保の考え方 (2)特定健康診査の受診率向上のための方策 ■がん対策について (1)★胃がん検診 (2)学校におけるがん教育の推進 ■子育て支援の一層の充実について (1)病児保育 (2)胆道閉鎖症の早期発見 (3)★不育症対策

③3月2日 古庄和秀議員 代表質問 (社民・民主・護憲クラブ)



■市長の政治姿勢について (1)★住民負担と市民生活 (2)健康的なまちづくり (3)★介護保険制度改正 (4)部局を越えた市民に必要な事業の構築 ■中学校給食について (1)適切な運営方式 ■大牟田市産業振興ビジョン2012~2016 (案)と今後のまちづくりについて (1)安全というポテンシャルの必要性 (2)事業所誘致プロジェクトによる、まちなかにおけるにぎわい創出 (3)新エネルギー産業と環境・リサイクル産業の振興 (4)★グリーンアジア国際戦略総合特区への参画 (5)★観光交流推進とB級グルメのまちづくり ■中心市街地の活性化について (1)★市長の決意と新中心市街地活性化基本計画

④3月5日 橋積和雄議員 代表質問 (日本共産党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)★社会保障と税の一体改革 (2)★平成24年度予算案 ■国民健康保険事業財政安定化計画について (1)財政悪化の原因と対策 (2)一般会計からの繰り入れ (3)低所得者対策 ■(仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備について (1)★市民意見の反映と施設整備の再検討 (2)フレンズピアおおむたの継続活用の検討 ■★帝京大学新学科開設の延期問題について ■世界遺産登録推進事業について (1)★議会決議に対する市長の考え方 (2)今後の予算投入のあり方 ■★快適住マイル改修事業について

⑤3月5日 入江裕二郎議員 一般質問 (自由民主党議員団)

■市長の政治姿勢について (1)★三池港の活用 (2)★三池港における貿易 (3)世界遺産登録と既存施設の利活用 ■産業振興



について (1)産学官での新規事業の取り組み ■住環境整備について (1)市街地整備事業の今後の計画 (2)道路のセットバック ■有料広告による財源確保について

⑥3月5日 大野哲也議員 一般質問 (公明党議員団)



■人材育成基本方針について (1)★ひと (職員) が活きる人事制度 ■★精神疾患対策について ■高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画について (1)★第4期計画の総括と第5期計画の策定方針 (2)介護予防及び重度化防止に向けた取り組み

⑦3月6日 平嶋慶二議員 一般質問 (社民・民主・護憲クラブ)



■国民健康保険税と介護保険料の引き上げについて (1)★国民健康保険事業財政安定化計画の推進 (2)介護保険特別会計に対する激変緩和措置 ■★中心市街地の空き店舗対策と若者の起業家育成について ■市民生活の利便性に向けた公共交通システムの整備について ■消防行政の推進について※ (1)消防団員の現状と今後の対応 (2)筑後地域消防通信指令事務 (3)消防庁舎建設に伴う職員の環境改善

※消防行政の推進についての質問はありませんでした

⑧3月6日 北岡あや議員 一般質問 (日本共産党議員団)



■介護保険事業計画について (1)★市民生活の実態と介護保険料の引き上げ (2)介護用品 (紙おむつ) 給付事業の条件見直し ■子育て支援について (1)休日保育事業の実施 (2)★学校給食 (3)子ども・子育て新システムによる本市への影響

⑨3月6日 田中正繁議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)政策のポイントと今後のビジョン (2)★被災地支援 (3)★中心市街地と地域商店街の活性化 (4)健康増進と医療費抑制 (5)生活保護のあり方 (6)住みやすいまちづくり ■産業振興ビジョン2012~2016(案)について (1)産業振興ビジョンの実現性 ■★教育関連施設の今後の利活用について

⑩3月7日 平山伸二議員 一般質問 (公明党議員団)



■市長の政治姿勢について (提案理由説明と市政公約2011) (1)産業の振興策 (2)★人口定住策 (3)副市長定数条例の一部改正 ■環境対策について (1)ペットの飼育方法に見る環境衛生の重要性 (2)ごみの減量等による循環型社会の構築 (3)温暖化対策 ■安心・安全について (1)地域防災計画の抜本的な見直し (2)★防災教育 (実践的防災教育総合支援事業) ■住基カードの普及促進について

⑪3月7日 森 竜子議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■九州新幹線新大牟田駅開業から1年後における現状と今後の展望について (1)今日の現状に対する市長の所感 (2)★観光情報発信等施設 (3)乗降客をふやすための方策 (4)市民に親しまれる駅づくり ■子育て支援について (1)休日保育・病児保育事業 ■教育行政について (1)よりよい中学校給食の実施 (2)小学校給食に関する事務事業見直し構想 (3)★児童・生徒の不登校対応 ■手鎌南川河川改修の進捗状況について ■中心市街地のあるべき将来像について



それでいいのか 特別職給与・議員報酬は

自由民主党議員団 境 公司議員

問 特別職の給与削減は23年12月で終了し、一般職の給与と議員報酬の削減は24年3月で終了となった。減額措置については、今後、どのように考えているのか。

答 累積赤字が解消したため、給与の削減措置は23年度で終了する。今後も職員数の削減による総人件費の抑制など、財政構造強化指針に定めたルールを遵守し、継続して行財政改革を行うことで実質収支の黒字を継続できるよう、財政の健全化に取り組んでいく。

問 24年度予算は、どんな点に注意を払って編成したのか。これは、財政構造強化指針に沿った予算なのか。

答 市長選挙で掲げた市政公約の実現の第一歩であり、市民の負託にこたえることを念頭に置いて取り組んだ。

財政構造強化指針を遵守し、経常経費の枠配分の継続、職員配置適正化方針に基づく総人件費の抑制、市債発行額の抑制、職員退職手当積立基金の積み立て等を行うこととし、再び赤字基調の財政運営を強いられないことがないよう、財政規律の確保に留意し編成を行ったため、同指針との整合の取れた予算となっている。



問 (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業(旧レマン跡地)については、新栄町駅前再開発事業と一体で総合的に考えていくべきではないか。

答 民間活力による住宅整備、本市の交流施設整備事業、再開発準備会による市街地再開発事業は、それぞれに機能や役割を持たせ、相乗効果を生み出すものであり、新栄町地区の総合的なポテンシャル向上につながるものと考えことから、今後も地元住民、民間事業者、商工会議所等関係団体との協力、役割分担のもと、再開発事業の推進と交流施設の整備を進めていきたい。

問 有害鳥獣(イノシシ)対策は十分ではない。国の支援事業を含め、どのような予算の組み立てをしたのか。

答 市として313万7千円、国の支援事業の要望額を420万円し、23年度に比べて約100万円増の733万円を見込み、有害鳥獣による被害軽減に努める。



胃がん撲滅に向け 胃がんリスク検診の導入を

公明党議員団 今村智津子議員

問 胃がんの原因の95%はピロリ菌であり、感染症だと判明した。胃がんリスク検診は、このピロリ菌の感染を調べて発症リスクを把握するもので、検査も容易だ。胃がん撲滅に向けて導入してはどうか。

答 今後、国の健康増進計画策定の動きや、他の自治体の動きなどを注視したい。ピロリ菌検査や除菌方法などは、胃がん対策に有効であることが医学的にも証明されており、様々な情報を積極的に周知していきたい。

問 新年度予算では、多くの新規事業、内容拡充事業などに取り組む予定になっているが、どのような点に重点を置いて予算配分をしたのか聞きたい。

答 産業振興ビジョンに基づく地域企業の支援、三池炭鉱関連施設の世界遺産本登録への取り組み、帝京大学の新学科開設に向けた支援、さらには、中心市街地の活性化として、(仮称)中心市街地にぎわい交流施設の整備や民間による新栄町駅前再開発事業の支援など、まちを元気にする取り組みを行っていく。

問 (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業は、市民に分かりやすく説明する責任があると思う。市民の声をどのように反映して事業を進めていくのか。

答 様々な機会で本事業に対する関係者の意向を伺ってきた。今後も対話を通じた施設整備を進めたい。

問 国民健康保険税の引き上げで負担を強いられるのは困るとの声や、市の赤字が解消したのなら、もっと公費の投入をとの意見も聞く。財源確保の考え方を聞きたい。

答 税率改正による被保険者への影響を最小限にとどめるために、財源の平均不足額の約半分を目途に、3年間かけて段階的に税率改正を行うこととしている。これとあわせ、国保積立基金の活用、医療費の適正化並びに一般会計からの繰り入れ増による財源確保等を行う。

問 不育症の治療であるヘパリン自己在宅注射に保険が適用され、負担が軽減した。流産・死産を繰り返す女性のために周知が必要だと思うが、考えを聞きたい。

答 産科等の医師が治療を行う中で周知が図られるものと考えるが、保健師等も相談に対応できるよう努めたい。



市民負担増をどう考えるか 介護保険制度改正には配慮せよ 中心市街地活性化の決意を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀議員

問 今回の国民健康保険税と介護保険料の値上げがどれほどの住民負担となって市民生活に影響を与えるか。

答 地域の雇用環境等が厳しい中、今回、市民の一人ひとりが病気になっても、介護が必要になっても、安心して暮らしていける仕組みを維持していくために、大幅な増額改定をお願いせざるを得なかった。市民生活の厳しさは十分認識しており、国民健康保険や介護保険については、議会を初め、市民の皆様方に対して、今後とも説明を十分行い、理解を得ていきたい。

問 在宅ケアの基盤強化、医療・介護の連携強化などの視点で、4月から介護保険制度が改正されるが、時間区分の変更などの課題に対してどう考えるか。

答 生活援助では、掃除や調理、洗濯という利用が多く、一つのサービスが15分程度で済む場合もあり、組み合わせによっては30~40分程度の状況である。今回の介護報酬改定は、生活援助が必要な利用者に、要求に応じて効率的に提供することで、より多くの利用者へサービスを提供できるなどの観点で見直されたものと認識する。

問 県、福岡市、北九州市共同で国の指定を受けたグリーンアジア国際戦略総合特区に本市も参画してはどうか。

答 本市も地域の公害を克服した技術や人材が蓄積され、エコタウンなどの実証フィールドを中心に、環境・リサイクル産業の振興に取り組んでいる。今後、県や特区の共同事務局等からの情報収集に努め、本市の事業内容を変更計画等に盛り込んでいただくよう取り組む。

問 大牟田市産業振興ビジョン（案）の中のB級グルメ支援事業とは、どのような取り組みが聞きたい。

答 観光交流推進プロジェクトにおいて、お好み焼きやラーメンなどの観光資源を積極的に売り出し、多くの観光客に来ていただけるよう取り組むもので、観光協会に設置されたB級グルメ開発委員会などとも連携を図る。

問 中心市街地活性化への市長の決意を聞きたい。

答 公約に掲げ、各界各層の支持を得て市長の任についているため、全力を挙げてその実現を果たすことが使命であると考え、不退転の決意を持って取り組んでいく。



介護保険料、国民健康保険税の大幅値上げは見直しが必要だ

日本共産党議員団 橋積 和雄議員

問 市民の暮らしを支える立場で、消費税増税を柱とした社会保障と税の一体改革に反対だ。見解を聞きたい。

答 消費税増税は、国民負担が増えることになり、市民生活、並びに本市の行財政運営に大きく影響すると思われるので、内容を注視していきたい。

問 介護保険料、国民健康保険税の大幅値上げは市民の限界を超えるものである。見直しを行い、市民の暮らしを守る予算にすべきだと思うがどうか。

答 特別会計は受益者負担が原則であり、医療給付費の上昇率、介護サービス費の上昇率について、今後3年間のシミュレーションを行い、保険税・保険料の負担率の積み上げ計算を行い市民負担を判断した。国保税では急激な値上げとならないよう、一般会計からの繰り入れを増額するなどして、激変緩和措置を講じた。

問 にぎわい交流施設整備については、市民意見を幅広く聞き慎重な再検討が必要ではないか。

答 この施設は総合計画の中でも位置づけをし、市政公約にも掲げて市民説明も行ってきた。市民の理解を得るために最大限の努力を行い、平成25年の開設を目指したい。



問 帝京大学新学科開設に伴い、無償譲渡する土地については、貸与とするなど大学が撤去しても市民負担がないようにすべきではないか。

答 万一10年後撤去することになれば双方で協議していく。今後も議会、市民には、丁寧な説明と情報提供に努める。



問 世界遺産登録推進事業は、市の財政事情から、費用は最小限に抑えるべきとの議会決議への見解を聞きたい。

答 世界遺産登録に必要な整備は、必要最小限の経費についても、国・県等の補助財源を効果的に活用し、少しでも市の負担がないよう取り組んでいく。

問 快適住マイル改修事業開始の意義と目的を聞きたい。

答 建設業などの需要を喚起し、消費拡大に結び付けること、地域経済対策、雇用の創出、市民の生活環境の向上を図ることを目的として開始する。



大牟田市民の暮らしは 今後どうなる

自由民主党議員団 山口 雅弘議員

問 本市の経済状況の中で、国民健康保険税、介護保険料等の市民負担のあり方をどのように考えるか。

答 国民皆保険制度等の社会保障制度は、国民生活を守る重要な制度と認識している。市民生活は厳しい状況だが、必要なサービスの提供には、受益の程度やサービスの量に応じた適正な市民負担が必要だと考える。

問 東日本大震災を教訓とした本市の防災対策はどうか。

答 災害時要援護者支援対策や警報等災害情報の伝達手段の充実といった、住民避難を軸とした地域防災計画の抜本的な見直しを24年度からの2カ年で行う。

問 産業振興ビジョン案における成長戦略を聞きたい。

答 本市のポテンシャルを生かしたリーディングプロジェクトを中心に、国・県等の関係機関や民間・大学との連携・協力のもとで積極的・組織的に取り組みを進め、さらなる地域の活性化や雇用の増加を図っていく。



三池港を活用した 企業誘致の促進を

自由民主党議員団 入江裕二郎議員

問 三池港周辺のインフラが整備された今、三池港をどう活用すれば、本市の活性化につながるかと考えるか。

答 港の魅力をアピールしながら、周辺の工場適地への積極的な企業誘致を進めるとともに、みなと100年ルネッサンス構想をもとに、港と近代化遺産などの地域資源とを連携させ、人が集まるにぎわいある交流拠点づくりの取り組みを進めたい。こうして、企業や市民にとって魅力ある港となることで、本市の活性化につながるものとする。

問 三池港からの輸出貨物の獲得に向けた取り組みが必要だと思うがどうか。

答 釜山港との国際航路開設以来、輸入貨物は大幅にふえたが、輸出はほぼ横ばいである。引き続き、輸出貨物を取り扱う市内大手企業の意見・要望を聞き、使い勝手のよい港を目指し、さらなる取り組みの強化を図る。



精神疾患対策へ 関係機関との連携を強化せよ

公明党議員団 大野 哲也議員

問 本市では、精神疾患対策として患者さんに対して、どのような取り組みが行われているのか聞きたい。

答 精神障害に対する支援は常時、本人や家族からの相談を受け付け、保健師が保健所内外で面接または電話などで対応し、必要に応じて訪問などを行っている。

問 人が生きる人事制度の中で、庁内公募制の拡充についての取り組み実績を聞きたい。

答 現在、本市では、国や県などへの派遣交流希望者の募集などの際の実施している。4月からは国土交通省九州地方整備局へ1人、県へ2人の派遣を予定している。

問 介護保険の給付が急激に拡大している要因について市の見解を聞きたい。

答 主に要介護認定者数の増加による介護サービスの利用拡大のほか、病院の早期退院に伴う要介護認定申請の増や在宅系サービスの増などがある。



介護保険料が41%も引き上げとなれば市民生活は大変厳しい 激変緩和措置を

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二議員

問 今回の国保税と介護保険料の引き上げは、多くの市民から悲痛な叫びが聞こえる。例えば、65歳夫婦2人で、年金収入250万円の世帯では、国保、介護の値上げで年間32万1,580円の負担となり、市民生活は大変になる。一般会計からの法定外繰り入れについて、市長の政治判断の時期だと考えるがどうか。

答 法定外繰り入れについては、首長としての裁量の余地はない。そのため、元気に過ごせるように介護予防を充実していきたいと考えている。

問 中心市街地の空き店舗対策は、起業支援の立場からも、大胆な対策と補助を検討すべきと思うがどうか。

答 現在は、新規創業者が商店街内の空き店舗に事業所を構える場合、一定期間、賃料の補助（月に5万円限度）を行っている。





お年寄りのくらしを支え、子育てを支援する街づくりを

日本共産党議員団 北岡 あや議員

問 介護保険料の41%の値上げは、高齢者の生活が崩壊しかねない。市民生活の実態をどう把握しているのか。

答 本市には、年金が主な収入である高齢者や低所得者が多く、保険料改定に伴う支払いについては大変厳しいものがあると認識している。低所得者については、市の独自減免制度などを活用しながら、きめ細かく対応していきたい。

問 学校給食は、食育を通して人間を育てるという視点が大事だと思うが、小学校給食に民間委託を導入する理由を聞きたい。

答 現在の調理水準を維持できる効率的な体制として、正規職員を集中的に配置する直営拠点校と民間委託校の併用方式により小学校給食を実施することとした。これにより、本市財政構造強化指針の経常経費の抑制を初め、より一層の小学校給食の充実が図られるものとする。



被災地のがれき処理並びに新中心市街地活性化基本計画等について

自由民主党議員団 田中 正繁議員

問 震災がれきの処理支援についての考えを聞きたい。

答 様々な課題をクリアして、市民の理解と協力を得ながら慎重に進めたい。

問 新中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況と高齢者等の買い物対策について聞きたい。

答 新中心市街地活性化基本計画については、5年以内の実現可能な事業の構築に努めており、その後、都市計画決定作業に移ることになる。

高齢者等の買い物対策については、出張商店街の実証実験と買い物環境調査の結果に基づき、関係商店街等と今後の取り組みについて検討していく。

問 市民体育館の老朽化が進んでいるため、建てかえの準備に取り組むべきと思うがどうか。

答 市民の中核スポーツ施設であり、総合計画・財政計画との整合も図りながら、今後も検討していく。



雇用確保で人口流出を抑制し市民が希望を持てる大牟田へ

公明党議員団 平山 伸二議員

問 生産年齢人口の減少を食い止めるためには、雇用の場を確保することが最重要と考えるが、所見を聞きたい。

答 産業の振興による雇用の場の創出確保や、子育て支援などを初めとした施策を展開し、今後も引き続き、だれもが安心して住み続けることができるまちづくりに積極的に取り組んでいきたい。

問 国の実践的防災教育総合支援事業を活用して防災教育の推進を図ってほしいと考えるが、見解を聞きたい。

答 各学校において防災教育の全体計画の見直しに取り組んでいる。児童生徒の危険回避能力の育成、状況に応じた避難行動のあり方、学校防災体制の構築、関係機関との連携などについて充実を図っており、今後、県の動向を注視してさらなる充実に努めたい。



新大牟田駅のにぎわい創出と観光施設の有効活用を

自由民主党議員団 森 竜子議員

問 新大牟田駅に設置される観光情報発信等施設は展示に重点を置くだけで、にぎわい創出には程遠くないか。また、レンタカーを置く計画はないのか。

答 同施設において的確な情報提供を行うことで、駅利用者の利便性を高めることを第1の目的としており、駅や地域が行うイベント等と連携して、本市の観光資源をPRするなどして、にぎわい創出に努めていく。

また、レンタカー誘致をJR九州に要望しており、今後も駅の利用促進に向けて取り組んでいく。

問 子供を取り巻く環境は複雑・多様化しており、不登校やいじめ問題解消のためにも、スクールソーシャルワーカーの活用時間や配置の拡大が必要と考えるがどうか。

答 24年度は県からの配置がなくなる。小中学校のPTA連合会等より配置を求める要望もあっていることから、市単独で配置できるよう検討を進める。

議会を傍聴してみませんか ～議会を監視するのはあなたです～

市政を監視するのは市議会の役割ですが、その議会を監視するのは有権者である住民です。

議会活動を知る方法の一つに傍聴があります。皆様の生活に直結した重要な問題が議会でどのように審議されているのか、議会だよりでは伝えきれない議会や議員の生の姿をご覧くださいことができます。

あなたの選んだ議員がどのように質問をしているか、本会議を傍聴して確認してみませんか。

議場での傍聴のほかに、北別館1階の市民ホール、またインターネットでの視聴もできます。



傍聴席からみる議場
(写真上)、傍聴席の
下の議員席(写真下)

■議場で傍聴

定例会（6月、9月、12月、2～3月）や臨時会、予算特別委員会、決算特別委員会が傍聴できます。傍聴席は、本庁舎玄関から入ってまっすぐ進み、市民生活課奥の階段を上ったところにあります。なお、庁舎は戦前の建物で、バリアフリーにはなっておらず階段が急です。エレベーターもありませんので、予めご了承ください。

■市民ホールで視聴

市役所北別館1階の市民ホール（期日前投票を行う場所）のテレビモニターでご覧いただけます。傍聴席まで行かないが傍聴したいと思われる方は、ぜひご利用ください。



■インターネットで視聴

パソコン等でインターネットがご利用できる場合は、大牟田市トップページの左下「インターネット議会中継」からご覧ください。生中継の他に、平成21年5月臨時会以降であれば、過去の録画も視聴できます。



■会議日程と質問者

定例会の日程は、前月の議会運営委員会で決定します。また、質問者と質問項目は質問日の2日前に決まります。詳しくは議会事務局まで。また、ホームページにも掲載します。議員一人の1回の持ち時間は、代表質問45分、一般質問35分（ともに答弁時間除く）です。

※※※※※※※※ 編集後記 ※※※※※※※※

この1年間、試行錯誤しながら「おおむた市議会だより」づくりに取り組んできました。色使いやページ数の制限、また編集委員の力不足で、魅力ある議会だよりには、まだまだ遠い道のりです。しかし、「議会を身近に感じてほしい」「手に取って読んでもらえる紙面にしたい」という気持ちは、委員全員が同じ思いです。この気持ちを一步一步、形にできるよう、今年度も工夫していきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。（A）

■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子
【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800
FAX 0944-41-2880
E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp

インフォメーション

■委員会等の傍聴について

議場以外で行う会議（常任委員会、特別委員会、全員協議会等）の傍聴ができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

■次の定例会は6月です

詳細については、5月中旬に議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表及び一般質問は、質問した議員自らが要約しました。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。6月上旬から閲覧できます。ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

■「他議会からの行政視察」は次号に掲載します